

賛否など態度決定に至った理由・討論

令和7年9月定例会	
議案番号 議案名	議案第38号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第6回）
議員名・会派名等	鳴原 舞
賛否態度	反対
賛否など態度決定 に至った理由や 討論	<p>【議案の概要】</p> <p>①仮移転関連経費として レイアウト検討・設計費用（委託費）72,600千円 賃借料等（令和8年3月分）30,850千円</p> <p>②プロジェクトチーム関連経費として 庁舎整備業務一委託料 32,965千円</p> <p>現本館・新館の仮移転に要する①②の経費について予算要求するもの。</p> <p style="text-align: center;">***</p> <p>会派無所属 参政党の鳴原舞です。</p> <p>議案第38号 令和7年度松戸市一般会計補正予算（第6回） 新庁舎管理事業について、反対の立場から討論いたします。</p> <p>一般質問でも申し上げたように、今は残念ながら「不安感」と「公約」という理由が先行してしまっているように思えてなりません。</p> <p>令和14年度を目途に進められていた新庁舎整備は、「市民と職員の不安感の声」を理由に白紙撤回と松戸市長は仰いました。</p>

市長は「ゼロベースで」とお話されましたが、これまで丁寧に積み重ねてきた議論が十分に活かされないまま仕切り直しになるのではないかと懸念を抱いております。

新庁舎の建て替えは、もともと松戸駅周辺のまちづくりを見据えた大きな計画の一部として議論されてきたものです。

庁舎は、それだけの単独の施設ではなく、街全体の将来像の中で位置づけられるべき大切なテーマだったはずです。

市長の「市民の不安を払拭したい」というお気持ちは理解しますが、国有地を購入したという事実を踏まえ、市議会と協議を重ねながら道筋を描いていただきたかった。

特に庁舎の分散化は、市民サービスや職員業務に具体的な影響を及ぼすことが懸念されます。

窓口が分かれることによる利便性の低下、災害対応の遅れ、情報共有やネットワーク環境の不備によるトラブルなど、市民生活や行政運営に深刻な混乱を招く可能性があります。

庁舎は、市民サービスの利便性や災害対応、財政への影響、さらには松戸駅周辺のまちづくり全体に関わる大きなテーマです。

それを「不安感」を理由に急いで分散化へと進めることは、到底納得できるものではありません。

確かに「その間に災害が来たら」という声もあろうかと思えます。しかし、準備不足のまま移転を急げば、かえって災害時の被害を拡大しかねません。だからこそ、事前に十分な検討を重ねることが不可欠だと考えます。

大災害への備えはもちろん重要ですが、それを唯一の拠り所として議論を推し進めることこそ、冷静な判断を欠いてしまっているのではないかと感じます。

もし市長が仮庁舎への一刻も早い移転を望むのであれば、むしろ前述したリスクを事前に精査するために、まずプロジェクトチームを立ち上げ、現地建て替えと移転の両面から公平に検討を行ったうえで結論を出すべきだったのではないのでしょうか。

以上の理由から、私は本議案に反対いたします。